TOKYO BAPTIST CHURCH 東京バプテスト教会
Weekend Message
週末メッセージが聞けます http://tokyobaptist.org/sermons/

王が来られた II　へりくだる者は高められる
マタイによる福音書 23:1-12

2023 年 3 月 11日 & 12 日
余沢　武　牧師

I.　はじめに

こんにちは。政府の新型コロナウイルス感染症対策の新しいガイドラインにより、3 月 13 日の月曜日以降から、TBC や TBC の礼拝中でのマスクの着用は個人の判断に委ねられます。

今日から、マタイによる福音書 23～25 章の新しいシリーズ「王が来られたⅡ」が始まります。以前学んだマタイによる福音書の続編です。私たちはこれまで、次のことを学びました。

① イエスは神の国を立ち上げるために来られました。ロバに乗ってエルサレムに入られると、イエスはご自分が神の人々を救うために来たメシアだということを示されました。

② ユダヤ人の指導者たちは、様々な質問をしてイエスを陥れようとした後に、イエスは「メシアは誰の子だろうか」という質問を彼らに投げかけました。そして、驚くべき事実を彼らに明かしました。王であるメシアは、神自身だということを。

今日は、これらを踏まえて、イエスが人々にどのように生きるべきかと教えたのかを見ていきます。
まず、祈りましょう。

II.　へりくだる者は高められる

(1)　私たちはどう応答するべきか

マタイ 23:1-3 を見ましょう。

「それから、イエスは群衆と弟子たちにお話しになった。『律法学者たちやファリサイ派の人々は、モーセの座に着いている。だから、彼らが言うことは、すべて行い、また守りなさい。しかし、彼らの行いは、見習ってはならない。言うだけで実行しないからである。』」

律法学者たちやファリサイ派の人々を、悪者だと思うかもしれません。しかし彼らは、神の御言葉に従うことに熱心だったことで知られていました。そのため、「モーセの座」に着いていたということは、人々にモーセの立法、つまり旧約聖書にどのように従うべきかを教えていたことを意味しています。

そのため、イエスは「彼らが言うことは、すべて行い、また守りなさい」と言いました。教えているのが誰であるかは関係ありません。その教えが聖書から来ているのであれば、私たちはそれに従うべきです。

度々ほかのクリスチャンや教会の指導者たちに傷つけられて、教会に行くことをやめてしまった人たちを見てきました。それは、聖書で「集会をやめたりせず」と書いてあるにも関わらず、です。イエスによると、他の人たちが神の御言葉に従っていなくても、私たちは神の御言葉に従うべきだと言いました。

(2)してはいけないこと

4 節です。

「彼らは、背負いきれない重荷をくくって、人の肩に載せるが、自分ではそれを動かすために指一本貸そうともしない。」

イエスは、ファリサイ派たちの教えを「背負いきれない重荷」だと言いました。これはとても興味深いです。考えてみてください。彼らの教えに比べると、イエスの教えは軽いものでしょうか。イエスは山上の説教で、次のように言っています。

「言っておくが、あなたがたの義が律法学者やファリサイ派の人々の義にまさっていなければ、あなたがたは決して天の国に入ることができない。」(マタイによる福音書 5:20)

ファリサイ派の人々は「人を殺すな」と言いました。イエスは「怒ることは、殺人と同じだ」と言いました。
ファイサイ派の人々は「姦淫するな」と言いました。イエスは「淫らな目で見るのは、姦淫するのと同じだ」と言いました。
ファリサイ派の人々は「隣人を愛しなさい」と言いました。イエスは「あなたの敵を愛しなさい」と言いました。

このような教えはもっと軽いでしょうか。実際のところ、イエスは私たちに新しい教えを説いているわけではありません。神の御言葉の正しい解釈を教えてくれているだけです。本当の問題は、ファリサイ派の人たちが、他の人が教えに従えるように手を貸そうとしも

しなかったことです。では、イエスは私たちが教えに従えるように、手を貸しましたか。

手を貸す以上のことをしました。イエスは、我々の罪を贖うために、自らを犠牲にして十字架にかかりました。
イエスは、聖霊を与えて、私たちが神の御言葉に従う力をくれました。

ここで問題があります。神の御言葉に対する理解が乏しかったため、律法学者たちやファリサイ派の人々は、自分たちの罪が見えていませんでした。そのため、自分たちの罪を贖うための犠牲や、神の助けがどれほど必要であるか分かっていませんでした。そして、他の人たちもそれを必要としているのが見えるように助ける必要性も分かっていませんでした。

5-7節にはこう書かれています。

「そのすることは、すべて人に見せるためである。聖句の入った小箱のひもを幅広くしたり、衣の房を長くしたりする。宴会では上座、会堂では上席に座ることを好み、また、広場で挨拶されたり、『先生』と呼ばれたりすることを好む。」

律法学者たちやファリサイ派の人々は自分たちが霊的な勝利者だと思い込んでいたため、次のようなことをしました。

① 聖句の入った小箱のひもを幅広くした
聖句を入れていた、祈りのための小さな箱です。ユダヤ人たちは、その箱を額や腕につけていました。彼らは自分たちが献身していることを示すために、大きな箱を身につけていました。
② 衣の房を長くした
これも同じように、神や神の御言葉を思い出すためのものでした。衣の房を長くしていました。
③ 宴会では上座を好んだ。
④ 会堂では上座に座ることを好んだ。
⑤ 広場で「先生」と呼ばれることを好んだ。

彼らはまるで、アスリートが大きな大会で優勝したかのようにふるまっていました。自分たちの成果に誇りを持っていました。一生懸命に努力しました。聖書に書かれたすべてのことに従いました。やり遂げました。完璧な模範となりました。しかし、彼らは本当にすべてのことに従ったのでしょうか。

怒ったり、ほかの人たちを淫らな目で見たりはしなかったのでしょうか。もちろん、しました。
自分たちの敵を決して憎まなかったのでしょうか。もちろん、しました。
心から、全身全霊を込めて神を愛したのでしょうか。もちろん、しませんでした。

学生の時、先生たちは度々問題を出しました。そして、こう言いました。「問題を解き終わった人は、解答用紙を提出して、教室を出てもかまいません。もし助けが必要なら、質問をしてください。先生はここにいるので。」

たいていの場合は、勉強が出来る生徒たちはすぐに問題を解き終わって、教室を出ていきました。でも数人の生徒は、問題を解くのに苦労していました。そして、先生のところに助けを求めにいくのです。教育の世界では、自分で問題を解ける生徒たちは、とても称賛されます。

でも、霊的な世界では違います。霊的な世界では反対です。自分で問題を解決できないことが知っていて、助けを求める人がとても称賛されるのです。

イエスはこのことを教えているのです。私たちは周りを見て、自分が信仰深い人である、聖書に従っている人であると思うなら、それは大きな問題です。つまり自分がどれほど罪深いか、どれほど自分の罪のためにイエスの犠牲と神の助が必要であるか分からないのです。

本当に信仰深いクリスチャンは、自分がどれほど罪深いかを知っていて、どれほど自分の罪のためにイエスの犠牲と神の助が必要としていることが分かっている人です。そして、霊的なリーダーは、このことを知って、他の人たちに指し示めさなければなりません。

(3)するべきこと

イエスはこう続けています。8-12節です。

「だが、あなたがたは『先生』と呼ばれてはならない。あなたがたの師は一人だけで、あとは皆きょうだいなのだ。また、地上の者を『父』と呼んではならない。あなたがたの父は天の父おひとりだけだ。『教師』と呼ばれてもいけない。あなたがたの教師はキリスト一人だけである。あなたがたのうちでいちばん偉い人は、仕える者になりなさい。誰でも、高ぶる者は低くされ、へりくだる者は高められる。」

私たちは、他の人を教えたり、世話をしたり、導いたりする役目を与えられているかもしれません。でも本当は、誰もが教えられ、世話をされ、導かれることをとても必要としています。神やイエスだけが、真の先生や、真の父や、真の指導者になれるのです。

だから、私たちは誰ひとりとして、他人より優れているところはありません。だから、与えられた赦しと恵みに感謝する必要があります。他人を見下すのではなく、へりくだってお互いに仕えあうべきです。

ヨハネによる福音書の13章では、イエスが十字架にかけられる前夜の最後の晩餐で、ある奇妙なことが起こりました。突然、イエスが弟子たちの足を洗いはじめたのです。イエスの時代には、足を洗うというのは非常に卑しい仕事で、奴隷がしていた仕事でした。

あまりにも卑しい仕事だと見なされていたので、ユダヤ人の奴隷に足を洗うように言い付けることを許されていませんでした。そのために、奴隷でさえもほかの人の足を洗うことはしませんでした。そのため、イエスが弟子たちの足を洗いはじめたときに、弟子たちは大変なショックを受けました。

メシアである王が、奴隷ですらやらないことをしたのです。弟子たちは無言になりました。ついに、ペテロが「私の足など、決して洗わないでください」と言いました。

でも、イエスは「もし私があなたを洗わないなら、あなたは私と何の関わりもなくなる」と言ったので、ペテロはイエスに足を洗ってもらいました。そして、イエスは弟子たちに、もっとも驚くべき教えのひとつを言いました。
「それで主であり、師である私があなたがたの足を洗ったのだから、あなたがたも互いに足を洗い合うべきである。」(ヨハネによる福音書13:14)

私たちは、実際にお互いの足を洗い合う必要があるのでしょうか。このほかに新約聖書で足を洗うことに関する記述があるのは、テモテへの手紙一5章の「敬けんなやもめの性質」のくだりだけです。では、イエスは何を教えようとしたのでしょうか。それは、私たちは、奴隷よりも身分の低い人のようになり、喜んで他の人に仕えるべき、ということです。

数年前、フェローシップ・ホールの部屋で、コーヒーを飲みながらフェローシップをしていました。誰かがコーヒーをこぼして、そのままにしていることに気づきました。私は誰かとおしゃべりをしながら、「汚れがひどくならないうちに、誰かが拭いてくれないだろうか」と考えていました。

当時は主任牧師がデニス牧師で、私は副牧師でした。デニス牧師が部屋に入ってきて、こぼれたコーヒーに気づいて、どうしたと思いますか？すぐ、静かにコーヒーを拭きはじめたのです。わたしは「ああ、しまった。どうして私が拭かなかったんだろう」と思いました。自分がとても恥ずかしかったです。
私は、自分を何様だと思っていたのでしょうか。これこそが、イエスが教えていることです。私たちは皆、受けるにあたいしない召使いです。誰かが私たちのために何かをしてくれるのを待つのではなく、自分たちがへりくだってほかの人たちのために何かをするべきなのです。

もし教会で何かが必要だと気づいたら、進んで必要なことをやって、ほかの人たちに仕えるべきです。聖書には、私たちは皆、霊的な賜物を与えられていると書かれています。つまり、わたしたちの兄弟姉妹に仕えるための賜物です。仕えていないのであれば、何か問題があります。私たちは、霊的な賜物を用いて、人に仕えるべきです。

それは私たちの奉仕―例えば翻訳の奉仕、アッシャーの奉仕、チルドレン・チャーチ、スチューデント・チャーチ、ワーシップ・チーム、ワーシップ・バンドや、スモールグループのホストのひとつ―を通してかもしれません。
もしかすると、もっと個人的なかたちで―励ましや祈りを通して―他の人に仕えることかもしれません。

イエスはこう言います。「それで、主であり、師である私があなたがたの足を洗ったのだから、あなたがたも互いに足を洗い合うべきである。」

イエスによると、イエスに従う人たちはこのように成長して他の人々を導くべきです。次のことをして、ほかの人たちを導きます。

私たちが、どうしようもなく罪深く、神の赦しと神に従う力をとても必要としていることに気づくこと。いかなるときもイエスの元に来て、ほかの人にもイエスを指し示すこと。
へりくだって、自分に与えられているものを、キリストの兄弟姉妹たちに仕えるために用いること。

イエスは「へりくだる者は高められる」と言います。これが教会の霊的なリーダーのあるべき姿です。もしあなたがまだイエスの元に来て、赦しと助けを受けていないのなら、今日そうしてください。

指定のない限り聖書は協会共同訳を使用しています。
聖書　協会共同訳: ©日本聖書協会
Japan Bible Society, Tokyo 2018

キリストのことをもっと知りたい
洗礼を受けたいという方はこちら
メール：cc@tokyobaptist.org
もしくは：https://t-b-c.us/cc

TBC Life 申込み
（毎週届くメールニュース）
http://t-b-c.us/tbclife

SG レッスンの PDF
https://t-b-c.us/sg1123jp

★クラス 402
キリストの伝え方
3月12日（日）13:00～17:00
参加条件: クラス 101 を修了した TBC メンバー

★クラス 201
クリスチャンとして成長するために
4月15日（土）13:30～17:30
参加条件: クラス 101 を修了した TBC メンバー

https://t-b-c.us/classes

オンライン献金
http://t-b-c.us/give

スモールグループ参加申込み
http://t-b-c.us/sgsu

奉仕者募集中！

1．日本語字幕オペレーター
月 1～各礼拝の時間の日本語字幕のページを矢印キーを押してめくる作業。コンピュータースキルはいりません。
スキル：英語を聞いて日本語がどこを話しているかわかる程度の英語力

2．日本語訳字幕作成
月 1～土曜日 16 時に TBC にて作業します。Mac でプロプレゼンターというソフトで作成しますが、1，2 回のトレーニングで簡単に覚えられます。作成後、土曜日 19 時の礼拝の日本語訳字幕オペレーターもお願いしています。
スキル：英語を聞いて日本語がどこを話しているかわかる程度の英語力

3．週末礼拝メッセージ翻訳
1 か月半に 1 度くらいのペース
自宅での作業になります。
英語のメッセージ原稿を日本語に翻訳します。
スキル：英語と日本語が堪能な方

*TBC の教会員であることが必須です。

連絡先：hiromik@tokyobaptist.org